

資料提供

原研大洗 高温工学試験研究炉（HTTR）における自動停止について（速報）

平成17年2月19日
生活環境部原子力安全対策課

1 発生日時

平成17年2月19日（土） 17時32分

2 発生場所

日本原子力研究所大洗研究所 高温工学試験研究炉（HTTR）

3 状況

- (1) 本日、原子炉施設定期検査の一環として、17時30分から原子炉出力を8.55MWから9MWに出力上昇中、17時32分に原子炉出力8.7MWで「制御棒位置偏差大」の信号により、原子炉が自動停止した。

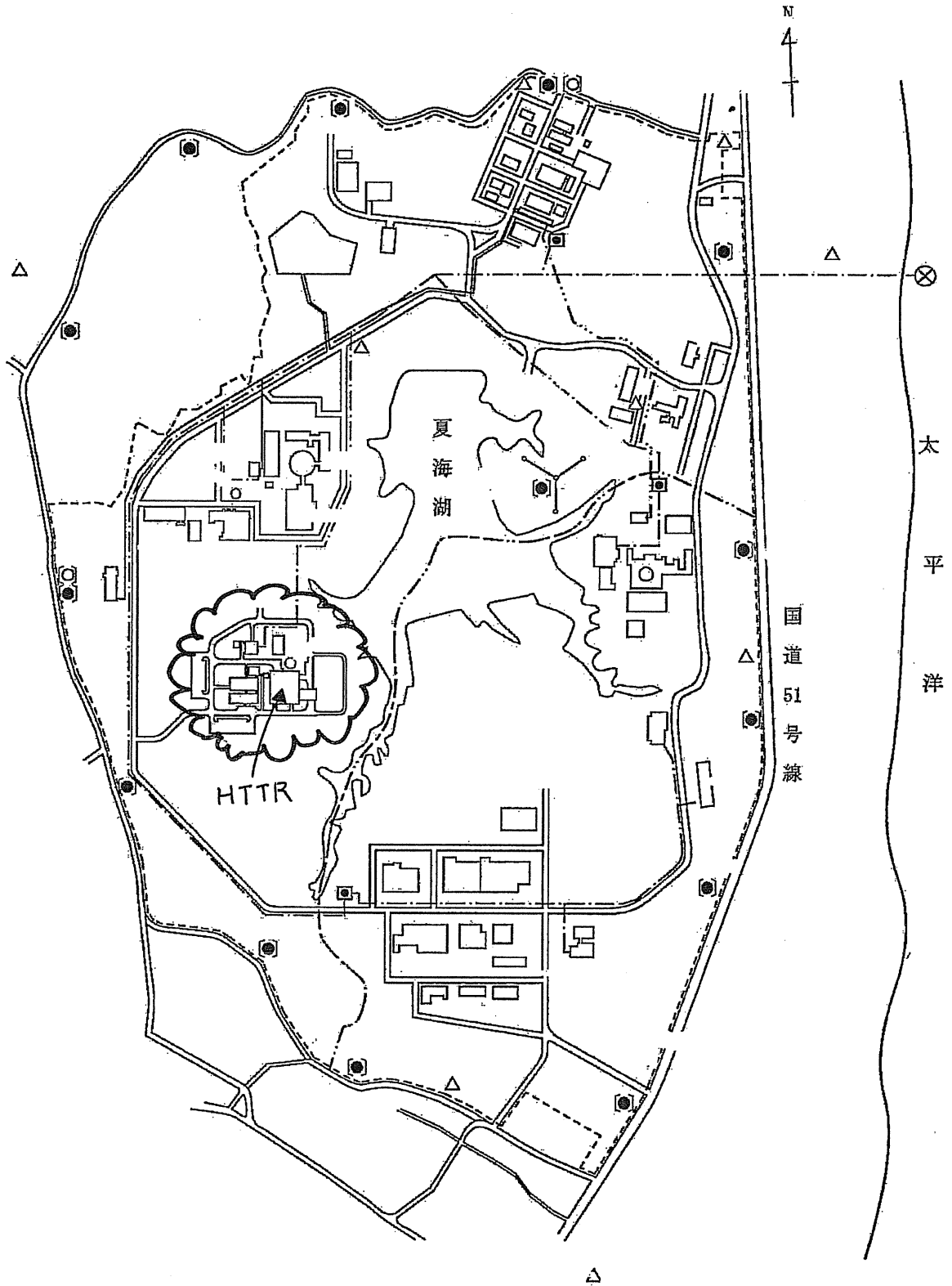
施設定期検査期間；平成16年7月26日～17年3月4日
原子炉起動；2月14日

- (2) 原因については、現在調査中。
(3) 周辺環境への放射能の影響；なし。
(4) 従事者に対する障害及び被ばくの状況；なし。

原因；運転開始前に「制御棒位置偏差大」の信号を解除すべきところ、解除しないまま運転を開始したため、原子炉が自動停止。
本件の取扱；本件が法令に基づく報告事象に該当するか否かについては、現在国において検討中。
安全協定上の取り扱いについては、国の検討結果を踏まえて判断する予定。

(添付資料)

- 別紙1 日本原子力研究所大洗研究所配置図
別紙2 高温工学試験研究炉の仕様



※ 本配置図は核物質防護上の観点から施設名称を明記せずに掲載しております。

日本原子力研究所大洗研究所配置図

高温工学試験研究炉の仕様

- 原子炉熱出力……………30MW
- 冷却材……………ヘリウムガス
- 原子炉入口……………395/850, 950°C
- 出口冷却材温度
- 1次系冷却材圧力……………4MPa
- 炉心構造材……………黒鉛
- 炉心有効高さ……………2.9m
- 炉心等価直径……………2.3m
- 出力密度……………2.5MW/m³
- 燃料……………二酸化ウラン・被覆粒子/黒鉛分散型
- ウラン濃縮度……………3~10% (平均6%)
- 燃料体形式……………ピン・イン・ブロック型
- 原子炉圧力容器……………銅製 (2/3Cr-1Mo鋼)
- 主冷却回路数……………1ループ (中間熱交換器及び加圧水冷却器)

● 別紙……………16頁

